発行元
新建築家技術者集団
福岡支部事務局
〒815-0041
福岡市南区野間 3-9-20-4F
[ケイ・プラッツ内]
Tel/Fax 092-541-8128
HP；shinken-fukuoka.net

梅の便りが届きはじめ、花粉の飛散情報が気になる今日この頃、みなさまお変わりなくお過ごしでしょうか。
前号(13 号)は、昨年 10 月の発行でした。その間に開催しました新建福岡支部企画の報告、全国企画の参加レポート等をお届けします。

11/05 レク企画　第１回山あるき ～背振山系　最東端(筑紫野から小郡・基山を望む)～

11 月 5 日(土)久し振りの新建仲間との基山への登山。先ずは新八代 6:43 発の各停電車に乗り、鳥栖乗換え福岡原田 9:27 着の電車行である。記録では福岡在住時、新建絡みの登山行は過去４回行われた。①1980 年 11／12(秋月・古処山日帰り)、②1982 年 10／9~10(大交流会「大きい秋見つけた」田主丸・鷹取山)、③1995 年 10／21・22(九重バス登山)、④1996 年 11／9(宝満山日帰り)だ。

1996 年以来の新建仲間との山行だが、参加者名をみると随分顔ぶれも変わってしまった。私も多少膝の痛みを感じつつ、迷った時は前に進むという私の最近の決め方で参加！

総勢 8 名確認後１０時過ぎ出発、天気良好のなか迷い人(遭難者？)らしき女性共々、案内板不備への文句・事前説明とは違った想定外の険しさに戸惑い乍ら、？(忘れた)の滝・基山城祉礎石群遺構等での 2 回休憩を経て 12 時半頃山頂到着！予想外に広い山頂で昼食場所に迷う。―以降、巻口氏独壇場！

待望の昼食！1 品持参という中で目を引いたのが当日案内者：巻口リュックからの品々～ビール／コンロ／餃子等～他、おにぎり／パン等々(以下忘れた)で秋青天下での思い掛けない宴会となり、参加者全員『基山最高、巻口様有難う』の声。念の為、私の梅酒残り漬け梅・自家製梅干しもそれなりに無くなり安堵！・・しばし休憩後 13：50 頃下山開始。膝に負い目の私としてはついに来たかの心境のまま下山したが、毎度の膝ガックンをごまかし乍らではやはりきつかった。歳には勝てません。

16：30 頃、交流会場に着き、18：00 宴会開始、中島・新谷・原田氏らと合流後の近況報告時、直近俳句『くも膜下拾いし生命彼岸花待つ』を披露する。これは 1930 年 9 月八代・日奈久温泉に逗留した山頭火にあやかり 2000 年から始まった「九月は日奈久で山頭火」の 13ｋウォーク時の私の投句！以来＝「やりたい事をやれる時に！会いたい人に会える時に！いきたい所にいける時に！」を心掛け！

（報告 /卯野木稔）

つづいては、入会してまもなく、この企画を託された新入会員・巻口さんからのレポートです。事前に登り、タイムスケジュール、持ち物リストまで作成してくださいました。

新建福岡支部の、新企画　『山歩き』の実行委員にいつの間にかなっていました(汗)。が、新入会員ですので、実行委員になったものの皆さんの体力その他の情報がまったくありません(涙)。「どうしたもんじゃろの～」という訳で、私の地元の基山とし、第1回目でもあるし、山での宴会と下りての温泉をセットでまずは、お試しコース兼お楽しみプランとしました。このプラン当初は、3月に案内し5月に実行の予定でした。しかし熊本の震災が発生しましたので、復興支援を最優先とし、この日に延期となりました。

（次頁へつづく）

熊本から卯野木さんが参加。

今回のレポートに、近況を添えていただきましたので、ご紹介します。

◆近況報告１
15 年前から「八代妙見祭」飾り馬奉納会に参加、昨年 12 月 1 日「全国 33 団体／山・鉾・屋台」のひとつとして、ユネスコ世界無形文化遺産登録決定！

◆近況報告２
12 年前「日本フィル九州公演」応援団体設立！昨年、『クラシックの風　ＮＰＯ法人Ｙｏｕ倶楽部：理事長／卯野木』として法人登録。演奏会も黒字決算、万歳！

写真右：卯野木さん
写真左：巻口さん

当日は、さすがの晴れ！JR原田駅には、ニコニコ顔が揃っていました（基山駅まで乗り過ごした〇〇さん以外)。またコンビニに買い物に行って、出発時間にいなかったため登る前から遭難者扱いにされた〇〇さん。今日いろいろ起きるエピソードを記録しようとメモる〇〇さん、と和やかな雰囲気でスタートしました。卯野木さんの報告とかぶる部分は省略しますが、途中からは迷って引き返してきた女性の方も同行。お滝の行場までは、タイムスケジュール通り順調に歩くことが出来ましたが、そこから先は苦戦。滝場にペンを落とした〇〇さん、拾いに戻るというと、「ちゃんと戻ってこいよ～見捨てないで～」と〇〇さん。という事もあり、あわせて登りの角度も少し険しくなってだんだんペースダウンして来ました。山が明るくなってくると「頂上じゃな～い!!」と、私は黙っていましたが、大いに声が弾むも違っていてそれから沈黙。。。礎石群を越えた場所で、ここは本当に頂上が近いことを伝えたら、「また嘘でしょ～」と・・・、体力を奪われて正常な判断が出来なくなってしまっていたかな・・・？　ともあれ、本当に無事に登頂出来まして、笑顔で記念撮影。

そして食事をするべく（なるべく人に迷惑を掛けないよう）南端の展望台まで移動。筑紫野・けやき台・小郡方面の展望が良かったです。ブルーシートを広げたら、大坪さんのパンがリュックから早速出てきて、渋田さんが野菜を炒め、麺を焼いて、ソースを振り掛けて焼きそばを作ってくれました。その後コンロにて『ぎょうざの丸岡』の焼き餃子。続いてコンソメスープにて水餃子（渋田さんのニラ・玉ねぎ入り)。そして、水餃子の残りのスープにて雑炊。そうそう僅かですが乾杯も出来ました。皆さんの嬉しい笑顔を見れて冷たいビールを担いで登った甲斐がありました(笑)。他の皆さんのおかずも沢山で、楽しいヤマ飯での宴会が出来た1回目の山頂。お腹が満たされた後は、スヤスヤ。晴天に合わせて風も穏やかで（山頂とは思えない位)、それはそれは気持ち良さそうでした。

山頂では2時間程度ゆっくりし、次なる目的地　温泉に向けて下山開始。急なくだり坂なので、口々に「登りでなくて良かった～」と言われていました。水門の手前からは、アスファルトの舗装道に。水門で山水を飲み、今度はなだらかな下りをてくてくアマンディ筑紫野まで、国道3号線を渡ったところに、旧肥前街道の面影がある場所が。。。坂本龍馬が、伊能忠敬が、将軍に献上された像も、この道を通ったんだな～　という道です。登りではあんなに元気だった〇〇さんが、下りで調子が悪くなったものの無事に下山。温泉に到着出来ました。

私は、温泉手続き後に残念ながら所用にて退散。温泉にも宴会にも参加できませんでしたので、しばらくして参加の皆さん各々が、この基山の体験を元に新たな体力つくりを始められたと聞き、企画して良かったと思えました。

第2回もすでに春の可也山と決まったようです。私も可也山は初めてなので楽しみです。引き続き体力をつけて山歩きの楽しみをこれからも味わいたいですね。とりあえずは、各自宝満山を楽に登れるようになってください。そうしたら、色々な山の計画が立てられます。　また次の可也山で楽しい山歩きを！

※〇〇には、会員の固有名詞が入ります。誰だか想像してください。（報告 / 巻口義人）

11／18～20

第 30 回全国研究集会 in 吉野 に参加して

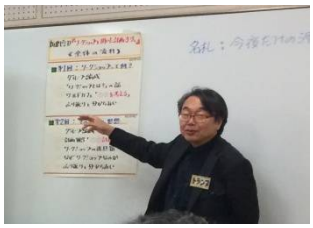
いつものように、片井さんの綿密な準備企画に乗せていただき、吉野の全国大会に参加してきました。春の桜で有名な吉野のお山は、秋の紅葉の美しさもそれに劣らず、降り立った JR 吉野駅周辺も、山懐を想像させる秋の色が、晴れた空に美しくとけ込んでいました。駅から歩いてすぐのロープウェーに乗り込み、眼下に広がる秋を満喫しながら、終点の吉野山駅までの空中散歩を楽しむことができました。

全国集会の会場になる竹林院は、道の両側に茶店、土産物店などが立ち並ぶ門前町を抜け、さらに、こう配のきつくなった坂道を歩くこと 10 分ほどにある、趣きあるたたずまいの宿坊です。受付に向かう列に並び、初めての宿への興味と、いよいよ始まる三日間への期待でわくわくしながら、私の全国集会 in 吉野が始まりました。
今回は、開会のご挨拶が終わると、第 1 日目から分科会 A が行われ、終了後交流会。二日目に分科会 B, そして昼食後にシンポジウムと閉会式という流れで行われました

11/30 12/16

新建ゼミ2016 Dシリーズ　『ワークショップを用いた計画手法（2回）』

講師：大坪克也氏(風土計画一級建築士事務所)　　会場：福岡市中央市民センター



ワークショップに初めて参加させて頂きました。まず、親近感を深めながら、ある方法で班分け。各人にカラーペンなどのグッズが用意され、日頃から大勢でのワークショップの準備ができていることが伝わります。第２回では、既に基本計画を終えた事例でしたが、土地の区画形状や道路、水路、隣地の配置関係、将来の増築の計画など施設を検討する条件が示されました。発表の際は、各班同じ条件でも同じものはありませんでした。実際のワークショップでは、施設を運営する人、従業員、顧客、近隣の住民などの関係者それぞれのアイディアを吸い上げて関係者の思いの込められたものに仕上げる手法のようでした。

私の住んでいる校区にある「第二宅老所よりあい」は、ワークショップの手法により大坪さんが手がけられたそうです。経営者も優れた人のようですが、通所介護者が喜んで利用されるように従業員が手際よく働いている様子が垣間見ることができます。ワークショップの手法で様々の関係者の多様な考えを反映させた成果ではないかと思います。子供の頃の遊びを思い出させるような楽しいセミナーでした。ありがとうございました。セミナー後半も大坪さんの深い思いを知るものになりました。銀河の彼方から地球にたどり着いた物質によって生命体が作られ 45 億年の進化の中で生命が繁栄滅亡を繰り返してきた。その一つの種に過ぎない人類の行為によって地球環境が棄損され、多くの生命体が存続を絶たれる事態が拡大しつつある。それに対し、運命共同体である地球の環境を守ることに目覚めた人々が世界中で手を携えて行動を起こしている。今現在、各地で衝突が起き多くの難民が助けを求めている。大国のリーダー達が自己主張を一歩譲って、資源エネルギーを浪費しない地球に謙虚なアースクエイク・ファーストの立場に立てば、集団心理で何時起きるかもしれないホロコーストや第三次世界大戦を回避できる。大坪さんの先覚的な発想が新建の中で広がって仕事に少しでも活かして行けば大変意義のあるものになってゆくと思います。

（報告 / 谷口壮一郎）

私は建築が専門ではないので、難しいことはわかりませんが、後5年程度を目処に現在の職業を辞め、現在、私の実家が空き家となっているので、そこに共同賃貸住宅を建てようと思っています。今回の新建ゼミは、建築のそれぞれの専門分野の大家から直接、現場のお話が伺えて大変有意義なゼミとなりました。どうもありがとうございました。　　（報告 / 佐々木實）

新建ゼミ 2016　全４シリーズ終了！

昨年 5 月からスタートした連続講座「新建ゼミ 2016」。今回の D シリーズをもって、全 4 シリーズが終了しました。会員の日頃の活動の奥深さ、建築ってやっぱり面白い！と感じる内容ばかりでした。この講座を機に新入会員が増えたことは、何よりの成果です！継続していきたいです。

各地で活躍されている会員の方の貴重な発表の数々は、生きた教科書だと今回も改めて感じています。お話をお伺いするだけでなく、参加者全員がそれについての意見を交換し合える場として、疑問点をすぐに投げかけられる場として、大いなる刺激ある会となりました。分科会の密度が濃いことからも、私にとっては、二日に分かれていたことがありがたく、それぞれの分科会をより丁寧に味わう事ができたと感じています。

大阪支部の伴年晶さんによる、分科会 B 第 8 分科会「リフォーム、リノベーション」では、実例の写真、図面から、“革む”ことの面白さを教えていただきました。詳しくは、是非、伴さんに福岡に来ていただいて、新建学校福岡で語っていただければと願っています。

おおいに学び、おおいに呑み、おおいに語らい。　全国の会に参加して、すてきな方々とご縁をいただくこの時間は、仕事へのおもいを支えてくれる、大切なものになっています。最後に、せっかく 4 人席を取ってくださった新幹線に乗り遅れ、一人ビールで乾杯をしながらの帰途についたことも、人生いろいろあるもんだと、改めて実感した今回の吉野でした。（報告 / 矢野安希子）

12/06 第３回仕事を語る会 ～原田康幸さん・矢野安希子さん～

会場：アミカス

会員同士、たびたび顔を合わせているけれど、仕事ぶりやその想いなどは意外と知らないことが多く、それぞれの人のお仕事や心意気などもっと深く知ってみたい…ということから始まった企画「仕事を語る会」。第三回目の開催となった今回の話し手は、新建福岡をいつも支えてくださっている「原田琺瑯」の原田康幸さんと、「庚壬建築デザイン」の矢野安希子さんのお二人でした。

原田さんは琺瑯の歴史からはじまり、実際のお仕事の様子をたくさんの写真を織り交ぜてお話してくださいました。いまやデザインはデジタル技術を駆使してつくられることが多いけれど、それを実際に製造する現場ではアナログでしか出来ないことがあり、その再現には蓄積された経験と高い技術力が必須であるということが伝わってきました。また、色についても紙原稿の染料インクと、実際に使用する自然界の鉱物などからなる無機顔料の違いがあるとのことで、琺瑯のこっくりとした色合いは自然のものならではなんだなぁと知り、ますます琺瑯が好きになりました。原田さんのお話からは琺瑯への愛情と職人としての誇りに満ちていて、素晴らしいお仕事なのだなと思うとともに、格好いいなぁ！と感動しました。

次の話し手の矢野さんは、生い立ちや大きな影響を受けられたお父様のお人柄、そしてどんな道筋をたどりながら現在のお仕事へ繋がってこられたのかを順を追ってお話してくださいました。その道のりには要所ごとに“導いてくれた大切な人”の存在があったこと。その人たちのおかげで今の自分が居ると、すべての出逢いへの感謝の気持ちを大切にされている姿が印象的でした。矢野さんのバックグラウンドをすこし覗かせていただいたように感じたのですが、その人の背景を知ることは、より親しみをもたらしてくれ、またより深いところからその人の魅力を見せてくれるように思い、素敵なことだなぁと感じました。自分もまわりの人を大切にし、そこから学ぶ心を持てる人で在りたい！とあたたかい心もちになりました。

お二人らしさのあふれる魅力的なお話に大満足して第三回を終了しました。今後の仕事を語る会もとても楽しみです。

（報告 / 中島梢）

おすすめ映画

全国の新建会員のなかで話題となっている映画があります。**「人生フルーツ」**という元日本住宅公団のエースといわれた建築家の物語です。福岡では、ＫＢＣシネマで上映中(3/3 以降は要確認)。上映期間・時間は、各自映画館にご確認ください。

毎月行なっている幹事会では、新しい企画の検討のほか、各会員が関わっている活動の報告等も行われています。いろいろな情報が交換でき、メンバーでよかったと思うときでもあります。お仕事・ライフワークのことをうかがえる「新建ゼミ」「仕事を語る会」は、新建福岡おススメの企画です。みなさまのご参加お待ちしています。

福岡支部　今後の企画予定

■３月１４日（火） 18:00 ~
「富山建まちセミナー・
全国研究集会in吉野　報告会」

■４月１５日（土） 09:00 ~
「可也山＆ＢＢＱ＆夜の語らい」

■５月２０日（土）
「熊本地震のその後
（益城町・熊本市内・小川町等）」

■６月
「第４回仕事を語る会」

■７月
「第５回仕事を語る会」

■８月
「夏のレクレーション」
「建まちセミナー」

■９月
「新建学校２０１７」　講師未定

※詳細は福岡支部HPで随時掲載予定

www.shinken-fukuoka.net